

令和 5 年度

事業計画（案）

社会福祉法人 祥水園

令和5年度 祥水園 法人事業計画（案）

法人理念

「してやるのではなくさせていただくのです」（宗祖お言葉 18 番）

法人経営指針

- ・共 生 我々は社会・地域・ご利用者と共生する喜びと感動を創作する
 - ・貢 献 我々は誠実・努力・謙虚をモットーに絶えず自己研鑽に励み、
社会・地域に貢献する
 - ・誇りと幸福 我々は仕事への誇りと幸福を追求し、働き甲斐のある職場作りを目指す
-
- ・近況報告

昨年12月より特養でコロナのクラスターが発生して、ようやく終息に向かい始めたものの、1月末に慈泉庵にて新たに感染が確認されたりと、なかなか収束宣言を出せない状態が続いたが、2月中旬にはようやく落ち着きを見せ、本来の事業展開を実施できるようになってきている。

このような状況の中で来年度の事業計画を策定することは非常に難しく、立案しても状況によっては計画倒れになることも予想され、今春にも5類に分類されるというWithコロナの時代において、方向性を示すことは非常に難しいかじ取りになることは明らかである。また、コロナ感染対策として従来補助金が出ていたものが打ち切られ、昨年にまして厳しい経営運営を強いられることが予測される。

しかし、一方で、Withコロナの時代だからこそ我々にできることもあり、この経験を今後の感染症対策として生かすことができるならば、大きな学びとなるであろうと考える。現場の職員と意見を交換しつつ、また、嘱託医や産業医、安全衛生委員会とも連携を図りながら、今後の対応について考えていきたい。

また、働き方改革で、労働基準監督署から指導が入り、特に当法人が行ってきた超過勤務の対策に対してその考え方は働き方改革にそぐわないという指摘を受け、大きく見直しをかけた。このことによって、人件費高騰は必至であり、昨年9月より法人の大きな方向転換となった。しかし、現場と経営のコミュニケーションが大きく図られ、業務改善を法人全体で考えていくよききっかけとなったと考えている。令和5年度も働き方改革による業務改善を仕組みとしてとらえ、働きやすい環境を法人全体で考えていきたい。

事業活動指針

- ① 法人健全経営
- ② 働き方改革の推進（業務改善の組みつくり）
- ③ 公益事業（FM 五條・野原ダイニング・Miracle）健全経営
- ④ 感染症対策の継続・強化
- ⑤ 地域との連携を図り、防災や災害支援活動を行う
- ⑥ 阪合部 CLASS の活動強化

令和 5 年度

事業計画 (案)

特別養護老人ホーム
水杜・水がたり

令和5年度 特別養護老人ホーム水杜・水がたり 事業計画（案）

今年度のテーマ 『 伝えるのは言葉ではなく、想いと優しさ 』

① 年間延外出人数を300人以上にする

- ・特養全体で外出の機会を創出し、社会との交流の機会を創り続ける
- ・外出の機会の中から新発見・再発見を見つけ、次の目標設定に繋げる
- ・外出時に必要な介護技術や緊急時の対応方法を身につける研修を行う

② グループケアの目標達成率80%以上を目指す

- ・グループケアを特養全体で推進し、年間30名以上のグループケアシートを作成する
- ・目標意識と評価・フィードバックの機会を設け、明日の楽しみを創る介護を実践する
- ・実践に関して発表資料を作成し、園内で発表を行っていく。

③ 実践報告を施設外で実施を2ヶ月に1回以上する

- ・学校関係や老人会等の施設外で実践報告の機会を創り出す
- ・園内での発表資料をフィードバックし、施設外での発表に使っていく
- ・介護の実践を伝える事で介護の魅力を発信し続け、外部の声も聞いていく

④ 他施設との共同勉強会を年2回以上開催する

- ・他施設と共同で勉強会を計画し、行く研修と来てもらう研修を実施する
- ・祥水園の介護観や実践をまとめプレゼンテーションできるような機会を創る
- ・外部との関わりの中から、新たな発見や課題を見つけ、実践に活かしていく

⑤ 地域活動に年4回ご利用者と参加する

- ・地域の清掃活動や美化運動の情報を施設内に掲示し、ご利用者の地域の活動に参加する
- ・祥水園近隣の地域活動や季節のお祭り等の準備や運営のお手伝いを行えるようにする。
- ・ご利用者の地域での社会貢献活動ができるように支援・準備していく

令和 5 年度

事業計画（案）

社会福祉法人 祥水園

事務員

令和5年度 祥水園事務員 事業計画(案)

事業活動指針

① 健全経営

月次決算の期日厳守
有効な財務資料を作成し、コスト削減に繋げる
補助金、助成金を活用し収益を確保する

② 働き方改革の推進

計画的な超過勤務を実行し超過勤務時間を5%低減する
定時出勤・定時退勤の推進
計画的な有給取得の推進
業務改善を推進し労働生産性の向上を図る

③ 業務改善

マルチ報告書の年間提出目標 100件
キャッシュレス化の推進
業務手順の見直しと時間コストの削減
公益部門会計の外部委託

④ ビジネススキルの習得

(ビジネスを遂行する上で必要な技能)

- ・思考系スキル
- ・対人系スキル
- ・組織系スキル
- ・業務系スキル
- ・知的生産系スキル

令和5年度

事業計画（案）

軽費老人ホーム 月街

令和5年度 軽費老人ホーム月街事業計画（案）

1. 軽費品質方針

- (1)社会・地域・法人内部署と協調し、福祉サービス活動を支援する。
- (2)ご利用者が尊厳を持ち、自立した心豊かな生活ができるように支援する。
- (3)生活支援に関する技術と知識を高め、業務の継続的改善を行う。
- (4)リスクマネジメント行動指針に鑑み、ご利用者の安心・安全を支援する。

2. 軽費処遇方針

・軽費老人ホームは設立より47年目を迎えた。全国的に、有料老人ホーム等が多く建てられている中、軽費老人ホームは年々少しずつ減ってきており、軽費老人ホームの必要性が年々高くなっている。また、少子高齢化が進み、独居、高齢者世帯が増えている。五條市も少子高齢化が進んでいるのだが、更に人口自体減っている。五條市にアプローチするだけでなく、市外、県外、都市部などへ外に目を向ける機会を増やしていくかなければならないと考える。コロナ禍だから出来ないではなく、その中で何が出来るかを考え、まず職員は「あきらめない」、ご利用者に「あきらめさせない」を念頭に事業をしていく。

・有料老人ホームが稼働し、新しい事業がスタートしていく中で、各部署間の連携を図り、質のいいサービスを行えるようにしていきたい。その中で、人材育成、人材確保の体制を整えていかなければならない。人材育成に関しては、やってみせるだけでなく、させてみせて、自分達のスキルを磨き、チャレンジしていく姿勢を持てる環境を作っていく。人材確保に関しては、法人に頼るだけでなく、自分達が行っているサービスをアピールし、SNSの発信、学校や大学への職場案内などをさせてもらい繋げていく。

そして、軽費として変わらないものを大切にしつつも、変えていかなければいけないことに目を向け、見直す力、改善する力、また新しいものを生み出す力をつけていく。

3. リスクマネジメント方針による具体的な行動指針

- (1) 地域との関わりの中で生じる事故や苦情に関するリスクに対してマネジメントを行う。
- (2) 外部からの持ち込みに関しての感染症対策や衛生管理体制に関してのリスクマネジメントを行う。

4. 各部署品質目標

1) 事務部門

相談員品質目標

品質目標

1.地域との連携を行う。

2.稼働率の高水準維持。

事務員品質目標

品質目標

1.月次決算のタイムリーな情報共有

2.事務所内の継続的業務改善

2) 生活支援部門

生活支援員品質目標

品質目標

1.地域への貢献

2.各部署の職員と連携し月1回のイベント実施

3) 医療部門

看護師品質管理

品質目標

1.ご利用者の身体の自立を促進し健康長寿の構築を行う

2.職員の医療面の知識と技術の向上

4) 給食部門

栄養士品質目標

品質目標

1.食のイベントの実施

2.畑で野菜作り

3.厨房倉庫内の備品整理

5.令和5年度 役割分担表

1、ISO担当

NO	ISO 担当	リーダー	サブ・メンバー
1	サーバイランス	①	②
2	校正	②	④
3	在庫管理	③	厨房職員、生活支援員
4	ISO委員会	①	各部署 ISO メンバー

2、懇談会・健康教室

	懇談会	健康教室		懇談会	健康教室
4月	⑤	①	5月	⑥	⑤
6月	⑦	②	7月	⑧	⑥
8月	⑤	③	9月	⑥	⑦
10月	⑦	④	11月	⑧	⑧

12月	⑤	①	1月	⑥	⑤
2月	⑦	②	3月	⑧	⑥

3、年間計画（法人行事・軽費行事）

月	行事	リーダー	サブ
4月	生誕祭	①	⑧
	花見	①	生活支援員
5月	オープンカフェ月間	⑥	生活支援員
	地域貢献	②	⑦
6月	軽費防災訓練	①	⑧
7月	ちべん保育園来園	①	④
	きゅうり加持	⑤	④
8月	盆供養	②	⑤
	地蔵盆	⑧	⑤
	夏祭り	①	生活支援員
	夕戯れ会	⑥	⑧
9月	長寿式	①	⑧
	彼岸法要	⑤	⑥
10月	地域貢献	③	⑦
11月	認知症フォーラム	①	⑦
	法人防災訓練（夜間想定）	①	⑦
	ちべん保育園児来園(お弁当)	①	④
12月	忘年会	⑦	生活支援員
	紅白歌合戦	⑧	生活支援員
	餅つき	④	①
1月	寒行	①	⑤
	軽費書初め	⑥	⑧
2月	節分祭・豆まき	⑦	生活支援員
	開園記念式典	①	⑦
3月	彼岸法要	⑤	①

注：すべての法人・軽費行事の総括は施設長が行う。

※太字は法人行事

4、居室担当

ユニット名	生活支援員	ユニット名	生活支援員
宇智の丘	⑧	桔梗	⑦
ほととぎす	⑥	金剛	⑤

5、クラブ活動・認知症予防

クラブ名	リーダー	サブ
カラオケ	⑦	⑧

書道	②	⑥
ハンドベル	⑤	⑧
カナリアクラブ	⑥	⑤
囲碁将棋	⑧	⑦
御詠歌	⑥	⑤
癒し会	⑤	-
御廟参拝	⑤	-
喫茶寿々	⑥	④
写経	⑤	-
寺子屋	①	⑧
大人の塗り絵	③	-
互助会	③	-
お運び	担当生活支援員	
誕生会（毎月）	月当番支援員	
もの忘れ外来	②	
散髪美々	月当番支援員	

①西村施設長 ②水野看護師 ③磯田事務員 ④新谷栄養士 ⑤小松主任支援員
 ⑥西端支援員 ⑦森支援員 ⑧新村支援員

5.顧客満足度調査について

結果について、別紙参照して頂きたい。令和4年12月にご利用者、ご家族・保証人様向
けに顧客満足度調査を行った。ご利用者については、令和3年度と比べるが、少し似てい
る結果だったようだ。集団生活の中、軽費としてのルールがあるので、そのルールに
対し不満がある方は、何名かおられる。出来る事は改善していくが、軽費として出来
ない事もあるので、そこはきっちり精査していく、ご利用者とも話し続けていきたいと思
っている。ご利用者と職員の付き合いが長くなればなるほど、なあなあになってしま
う。仲良くなることは悪くないと思うが、その辺りで気を付けていかなければ感じ
る事があるので、注意していくと思っている。

ご家族・保証人については、令和3年度と比べ大変満足と答えて下さる方が増えている。
これは軽費がコロナが発生したときに、手紙や電話をさせて頂いたり、面会が再開となり
ご家族と職員が直接話せる機会が増えたからなのではないかと考える。4月から言葉遣
いや態度を気を付けてほしいと職員に注意し、それを意識してくれた結果だと思う。継続
していく。

6.軽費の増設について

軽費老人ホームの大規模修繕を行う際に仮設住宅として使用した星街について今年度は
有料老人ホーム 星街として稼働していく。どのように運営していくか話し合っていく。

令和 5 年度

事業計画（案）

グループホーム 慈泉庵

令和5年度 グループホーム慈泉庵事業計画（案）

社会福祉法人 祥水園 法人理念

「してやるのではなく、させていただくのです。」

1. 慈泉庵 運営方針

- ①私たちは、ご利用者が住み慣れた地域で心豊かに過ごせるように支援します。
- ②私たちは、ご利用者が尊厳を保持し、生きがいを持った生活を支援します。
- ③私たちは、絶えず自己研鑽に励み、ご利用者に安心・安全な介護を提供します。

2. 処遇方針

コロナ禍の中、生活が窮屈にならないように『ご利用者主体の生活を支援する』をテーマにケアを実践する。「施設内で完結させないケア」を令和4年度のテーマに掲げ実践を行ってきたが、コロナの終息が見えず、地域へ出て行く事が難しかった。それでもできる事は何かを考えながら、ご利用者の思い、願いに寄り添い、意向に沿った生活が出来るように、ケアを実践してきた。認知症を持つご利用者に、まだまだこんなことができる、こんなこともできると沢山の発見があり、その学んできたことを職員は活かし、個別のニーズを捉え、ご利用者の力を最大限発揮していただき、慈泉庵で長く住み続けられるよう取り組んでいきたい。

また、クラスターを経験することで、感染症に対する職員の意識が変わった。これをよき学びとし、感染症が起こった際の対応が迅速にできるよう、マニュアルの整備や備蓄の管理、日頃の訓練や研修を行って行きたい。

働き方改革においては、見守り機器の導入を行い、事故防止や便失禁等に伴う時間の軽減を図るなど、業務改善につなげたい。

3.品質目標

品質目標

- ① 事業者外・地域を巻き込んだ個別支援の実践
- ② 認知症の啓発活動・広報活動の拡充
- ③ 地域の認知症カフェの開設

4. 年間計画（法人・慈泉庵行事）

4月	生誕祭、お花見
5月	防災訓練
6月	バーベキュー
7月	きゅうり加持
8月	盆供養、夏祭り
9月	長寿式、彼岸法要

10月	運動会、さんま祭り
11月	防災訓練
12月	紅白歌合戦、忘年会、餅つき
1月	書初め、新年会、寒行
2月	開園記念式典、節分
3月	彼岸法要

※誕生日会はご利用者の誕生日当日に実施予定

※上記以外の食事等に関するイベントを月2回程度実施計画する

5.研修計画

- ①認知症介護実践者研修 1名
- ②認知症介護リーダー研修 1名
- ③その他介護知識・技術に関する研修 都度

令和 5 年度

事業計画（案）

在宅支援事業所 水輪

デイサービスセンター 漣

ケアプランセンター 水面

ヘルパーステーション ひと零

令和 5 年度 デイサービスセンター漣 事業計画（案）

1. 活動方針

新型コロナの影響により、稼働率の低迷も続いたが、これから的是非コロナ時代に向け外出や交流の日常を取り戻すサービスを提供する。

令和 5 年度は、日平均稼働率 24 人を目指し、稼働率を上げていくための取り組みを重点的に行っていく。自立支援、自己決定を主に置きながら理学療法士と公益事業ミラクルのパーソナルトレーナーがコラボレーションする事で医学的な根拠を示しつつ楽しく続けられる運動を提供していきたい。

また、働き方改革で法人の目指すべき姿勢を目標に取り組む。定常業務に疑問を投げ掛け、本質を見抜く力を養い。隨時必要性を検討していきたい。

令和 6 年度の介護報酬改正に伴い、速早く情報収集を行い新制度に向けた体制作りを行う。

2. 部門目標

- ① 稼働率の維持・向上
- ② 働き方改革による業務改善
- ③ 食中毒防止
- ④ 感染症発症及び蔓延を予防

3. 部署目標

①-1 ISO9001 : 2015 による業務改善

- (1) サーベランス年 1 回（2 月）
 - ・品質マネジメントシステムの構築を図る。
- (2) 内部監査ならびに委託先の監査・評価
 - ・定期的な内部監査を実施し、業務の見直し・改善を行うこととする。
 - ・業務委託先については監査を実施し、業務の評価・見直し・改善を行うこととする。

①-2 計画に基づいた営業活動の実施

- ・営業活動計画を作成し、営業努力目標の達成に向けて年間を通じた営業を行い、稼働率の向上を目指す。

② 定常業務の見直し

- ・業務の優先順位を付け、優先順位の低い業務や重複している業務、不必要的業務の見直し。
- ・物理的レイアウトの見直し。

職員の導線を見直し業務の効率化。ご利用者の導線を見直し自立支援の促進と職員の

負担軽減。

- ・システムやツールを活用し、業務の自動化・短縮を行う。

③定期的な衛生面の見直し（内部監査の実施）

- ・3か月ごとに衛生面の見直しとして、内部監査を実施する。対象としてフロア内のキッチンと野原ダイニングを交互に行うこととする。

④嘔吐物処理研修をはじめとする感染症対策の継続的な実施

- ・嘔吐物処理研修を定期的に実施し、迅速な対応手順の精査や感染症や食中毒による影響やリスクについての検討を行う。またフロア以外でのケースも想定されるため、各場面に応じた処理方法を実施、最小限のリスクで対応できるようとする。
- ・パワーポイントを使用したご利用者向けの健康教室の実施。ご利用者への啓発を行いつつ感染症のリスク軽減の機会を図ることとする。
- ・コロナ発症者及び濃厚接触者へが出た際の対応の確立

<各ケース想定嘔吐物処理研修計画>

- ・7月 緊急時対応研修：嘔吐処理（フロア編）
- ・9月 緊急時対応研修：嘔吐処理（車内編）
- ・1月 緊急時対応研修：嘔吐処理（入浴編）

<健康教室>

- ・4月…コロナウィルス
- ・6月…脱水症状
- ・8月…食中毒
- ・10月…インフルエンザ
- ・12月…ノロウィルス
- ・2月…口腔ケア

<職員研修>

- ・5月…感染症
- ・11月…災害と感染症

令和5年度 ケアプランセンター水面 事業計画（案）

1. 近況報告

コロナ禍での業務遂行のやりにくさは残りながらも、通常の業務の在り方が求められるようになってきた。コロナ禍においては、一度入院すると、ご家族でもなかなか面会がかなわず、そのままお亡くなりになったり、それが原因で症状が悪化したりするケースも見られた。コロナ禍になる以前より、最期の時を自宅で迎えたい、迎えさせてあげたいと希望するご家族も多くなってきており、訪問看護、訪問介護、ケアマネ等の必要性が重要視されている。より一層医療と介護との連携が必要になってきている。

2. 部門目標

①稼働率の維持・向上

- ・他部署との連携を密にし、ニーズにあつた、サービスの提供を行う。
- ・SNS等の活用、広範囲に広報し、顧客獲得を目指す。
アイパッドを活用し動画、写真を撮影、引き続き『見える営業』をしていきたいと思います。

②食中毒防止

デイサービスの検食や内部監査に参加しチェックする。在宅で不衛生など衛生管理が困難なご利用者は、必要なサービスを調整する。

③感染症発症及び蔓延を予防

感染症に関する情報は、常に気を配り各部署との連携を図りながら感染症予防に努める。

職員は感染予防の研修に参加し、知識、意識を高め、ご利用者、ご家族に伝達していく。

3. その他

○営業計画・・・スポーツジム miracle とコラボし、『エンジョイクラブ』を開催。

※50.60歳代をターゲットにした運動イベント

地域に出向き、介護相談などをを行い、祥水園ケアプランセンターの事を知って頂く。

介護者教室祥水園一座（市の委託事業）など開催する。※五條市未定との事

五條周辺の地域へのチラシ配布。

その際、他部署のチラシも持っていき、門戸を広げる。

○特定事業所加算取得・・□利用者に関する情報又はサービス提供しに当たっての留意事項に係る伝達

- 等を目的とした会議を定期的に開催。
- 当該指定居宅介護支援事業所、介護支援専門員の計画的な研修実施。
 - 地域包括支援センター等が実施する事例検討会に参加している事。
 - 他の法人が運営する指定居宅事業所と共同で事例検討会、研修会議等の実施。
 - 青・赤・緑本の勉強会実施。
- 業務の改善を行う・・・効率化、改善方法を考え、月に1枚以上マルチで報告。

令和 5 年度 ヘルパーステーション 事業計画（案）

〈 ヘルパーステーションひと雲 〉

令和 4 年度は前半に施設入所や自立される方が相次いだ。その時点でのサービス提供責任者の交代となり、業務の引継ぎとご利用者の同行訪問に時間を費やし、新規の獲得には及ばなかった。その後、コロナ禍による影響を受け訪問数を減らすこととなった。しかし、徐々にではあるが、新規の訪問を受ける機会が増え 40 件に到達する月も出来、また、10 月から新たに介護職員等ベースアップ等支援加算が加わった事により少しづつではあるが、収入も回復してきた。

しかし、ご利用者の心身は日々変化しており、病気の悪化などにより入院や施設入所へと移行する傾向があるのが常である。サービス提供について引き続きご利用者の支援内容の見直しを行い、担当ケアマネージャー、軽費、デイサービスとの連携を取り新たなニーズを見出しサービスの追加と、利用人数上限 40 名を目指しての新規依頼の獲得と共にご利用者の自立支援についての目標にも取り組んでいきたい。

自費サービスにおいては、気軽に利用して頂けるよう SNS の発信を行い、新たな顧客の獲得と介護保険を利用してのサービスにも繋げていきたい。

働き方改革の業務改善としては、契約書に掲載している労働時間の開始時間及び終了時間を訪問時間に応じて、スライドさせ 8 時間労働及び 4 時間労働（半日）として労働時間を遵守し超過勤務を減らしていきたいと思います。

部門目標

- ① 稼働率の維持・向上
- ② 食中毒防止
- ③ 感染症発症及び蔓延を予防

部署目標

- ① 通院介助や外出、介護保険外での自費サービスをサービス提供責任者が中心に回り增收を図る。訪問業務は引き続きサービス提供責任者、登録ヘルパー及び兼務の介護員で円滑に回るように訪問調整を行う。サービス提供責任者の事務処理業務で他部署に移行できる業務をスムーズに引き継ぎ、訪問業務に専念しモニタリングなどもより計画的に行い登録ヘルパー、兼務介護員の意見交換にも活用する。
- ② 調理前の手洗い徹底、マスクの着用、調理器具の消毒、食材のチェック、ご利用者の手指消毒にも適宜注意を促す。ご利用者の食生活の確認等を行う。
- ③ 訪問前後の手洗い、うがい、消毒を徹底とタケックス携行の継続。
訪問時は必要に応じフェースシールド、アイシールド、不織布マスク、手袋、防護服の装着を引き続き行う。ご利用者の身体状況、環境面の観察も強化し感染症の蔓延や症状悪化を防止する。感染症の知識を幅広く得る研修の実施や内部研修の感染症研修への参加、または資料配布を行い注意喚起する。

令和 5 年度

事業計画（案）

公 益 事 業

野 原 ダ イ ニ ン グ

F M 五 條

ス ポ ー ツ ジ ム Miracle

リラクゼーションスペース JADE

令和5年度公益事業部事業計画（案）

祥水園野原西 village の意義、「地域共生」を目的とし、地域住民の方やご利用者、ご利用者のご家族、職員が交流を生み、暮らしに活力を与え、生きがいや癒しを感じる事が出来るサービス提供に努める。法人内部署と連携、協調しながら公益事業の運営を行う。

本年度はアフターコロナの地域に対し、つながりの再構築と地域活性の相乗効果を図る。

【野原ダイニング】

目標

1.野原ダイニング健全経営

- ・新規顧客の確保の為、チラシ・SNS等での情報発信、各事業所への営業を行う
- ・食数減少に対する現状を調査し、原因を検討
- ・献立会議の充実
- ・湯の街で定期的にデザートを販売し、顧客確保に努める

2.物価高騰に対するコスト削減

- ・食材の見直し（業者の変更・代替案の検討）
- ・適正在庫の管理
- ・働き方改革に伴う業務改善の実施

3.厨房職員の次世代育成

- ・味付けの安定化
- ・各々が担当できる業務の増加

【FM五條】

目標

1. 防災・減災情報の発信、災害時の情報発信による地域貢献
2. 黒字化（設備機械更新のための積立金の確保）
3. 仕事の質の向上と業務効率化を経て、局内外への企画提案

【スポーツジム Miracle】

目標

1. 会員の再入会・新入会の正確・迅速な手続きの実施
2. 健全運営、広報活動から事業収入予算の達成
3. SNSや掲示板を活用し、地域とのつながり強化

【リラクゼーションスペース JADE】

目標

1. ご利用者、職員の安寧の為健全な運営を行う
2. ご利用者、職員利用の増加につなげ 黒字化

令和 5 年度

事業計画（案）

阪合部 CLASS

令和5年度 阪合部 CLASS 事業計画(案)

【目的】

空き家対策として社会福祉法人祥水園がこの山縣家を譲り受けた。この建物は、診療所であり地域に長年貢献してきた建物である。この由緒ある建物が地域の人々の
「住み慣れた土地でいつまでも元気で暮らす集いの場」となることを目指す。

基本方針としては①学び、②創る、③つなげることの 3 本柱とする。地域の方や子ども・親、高齢者、障がい者等、多様多種の人々が集い、活躍したい人やちょっと一休みしたい人、誰かを応援したい人等、様々な得意や気持ちも「暮らす(CLASS)」中で共生し続けることができることを目的とする。

【今年度目標】

① 日本財団 みらいの福祉施設建築プロジェクト助成金の申請を行う

- ・今年度の助成金の申請に向け、設計士とも話し合いを持ちながら資料作成する。
- ・申請に向け地域とも情報交換を実施し、完成後のイメージを共有する。
- ・完成後のプランニングについても話し合いを行い、発信発動を行う。

② 2つ以上のメディアからの取材を受けられるように情報発信を行う

- ・実践活動を記者クラブ等の媒体に投函し、発信活動を行う。
- ・目的や実践活動について、メンバーで共有し共通事項を確認する機会を設ける
- ・他の地域福祉に対する情報感度を上げ、情報共有できる機会を創る

③ SNS 年間100投稿することで阪合部の魅力や人とのつながりをつなぐ

- ・阪合部CLASS単独でのインスタグラムのアカウントを作成・運用する
- ・阪合部CLASSだけではなく、阪合部の地域のことや住民についても発信を行う
- ・イベントやできごとだけに着目せず、地域に日常にもフォーカスし発信をする